HP公表用

令和8年度全国学力・学習状況調査　利尻町内の状況及び今後の改善方策

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

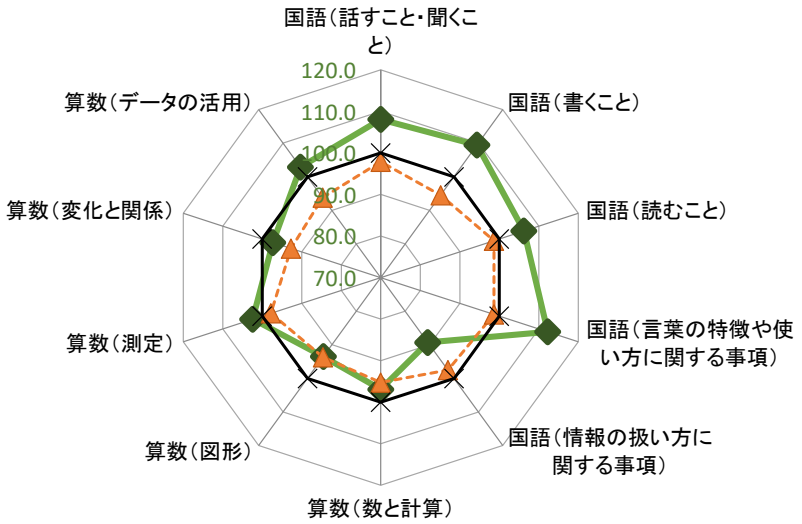
・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

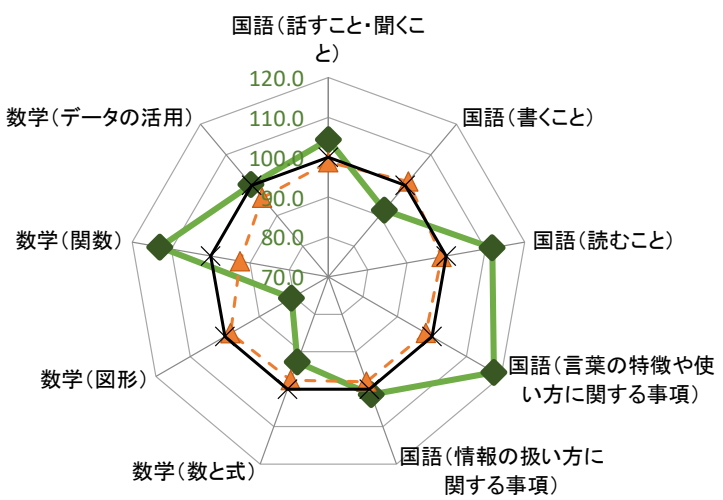
※中学校英語は4技能（聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと）の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
利尻町	65	55	69	54	457
北海道（公立）	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国（公立）	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校

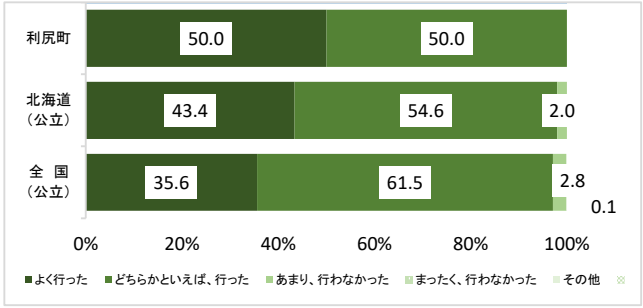


中学校

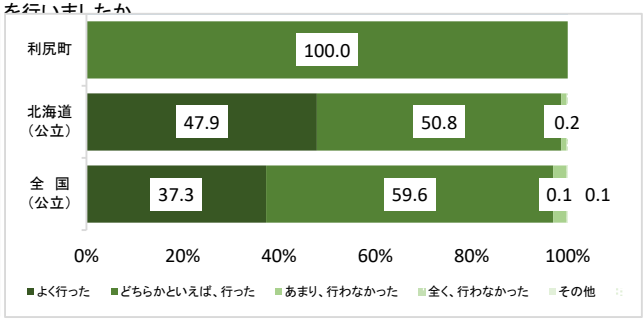


○ 質問調査の状況

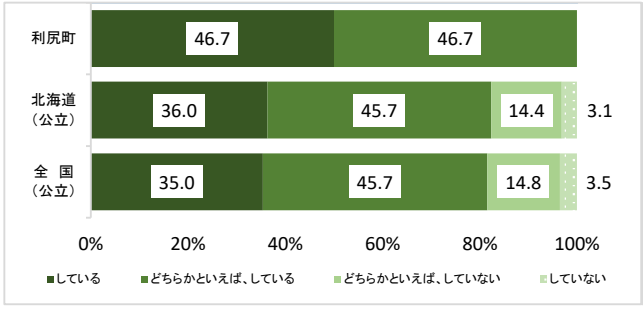
小学校
＜学校質問＞
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるような指導を行いましたか



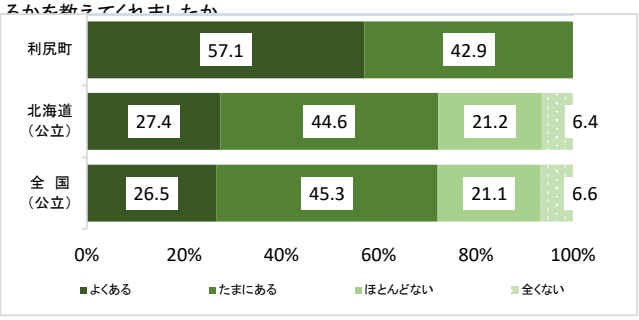
中学校
＜学校質問＞
調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の授業で、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか



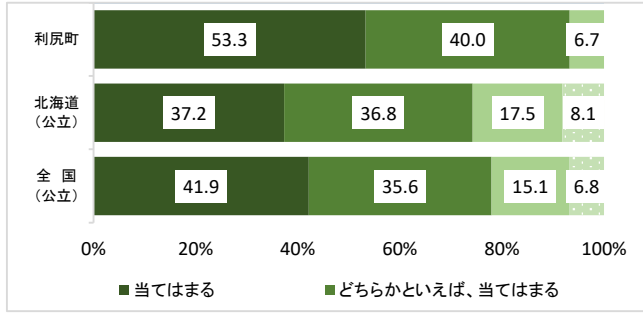
小学校
＜児童質問＞
5年生までにうけた授業では、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていましたか



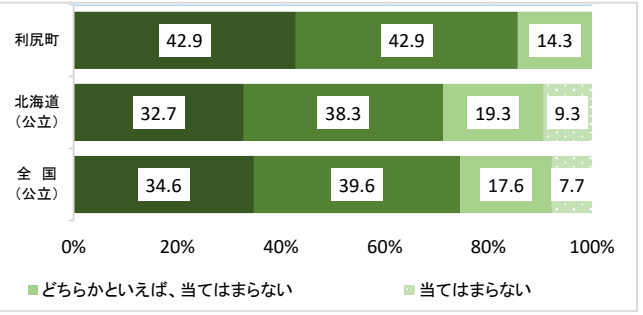
中学校
＜生徒質問＞
1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか



小学校
＜児童生徒質問＞
算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



中学校



○ 調査結果の分析

・成果①　児童質問(58)、学校質問(48)
　小学校において、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書く授業を行ったことにより、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができると回答した児童の割合が全国及び全道を上回り、国語の平均正答率が全国及び全道を上回った。

・成果②　生徒質問(57)、学校質問(46)
中学校において、国語の授業で生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じたことにより、国語の授業で、先生が学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれたと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回り、国語の平均正答率が全国及び全道を上回った。

・課題
小学校の国語では全道・全国平均を上回り、算数では全道平均を上回ったが、図形の領域で課題が見られた。中学校では得意領域と不得意領域の差が激しい結果となり、小学校の時に得意領域だったところも、低い数値となったことで、本当に基礎基本が定着しているかの確認は必要となる。
また、英語に関しても話すことが課題となっている。

○ 今後の改善方策

・小中学校とも基礎基本の定着をしっかり行うことを最重要課題としているので、小学校からの積み重ねと、小学校から中学校にしっかりと引継ぎをおこなえるように分析したことを実行していくプランの引継ぎも必要となる。英語の話すこともALTの積極的な活用おこない、回数をこなすことが重要。

・公設学習塾では、英語と数学に特化して授業を行っている。今年度から小学生も対象に行っている。